

町民税・県民税申告受付について

- 1 ページ 申告受付日程表
- 2 ページ 利用者識別番号の取得について
- 3 ページ 申告の必要がない方
- 4 ページ よくあるお問合せ

▶ 期 間 令和2年2月13日(木)～3月16日(月)
 ・土・日は除きますが、2月24日(月・振替休日)及び3月1日(日)は実施します。
 ・2月13日・14日は、給与所得者と公的年金所得者の還付申告のみとなります。

▶ 受付時間 午前8時45分～午後4時

▶ 会 場 茨城町役場2階 第2・3会議室
 営業・農業・不動産所得にかかる収支内訳書や医療費控除の明細書等を事前に作成されていない場合は、作成が済んでからの受付になります。
 (申告期間中、1階税務課では申告相談を行いません。作成の済んだ申告書の提出のみ可能です)

1 申告受付日程表 (指定日以外でも申告できます)

日 時	地 区
2月13日(木)・2月14日(金)	給与所得者・公的年金所得者のみの還付申告
2月17日(月)	木部・飯沼・上飯沼
2月18日(火)	下飯沼・下土師・奥谷
2月19日(水)	越安・蕎麦原・駒渡・野曾・南栗崎・南川又
2月20日(木)	長岡・三島
2月21日(金)	矢頭・植農
2月24日(月・振替休日)	長岡・川根地区全域(平日に来られない方)
2月25日(火)	谷田部・小鶴
2月26日(水)	前田・桜の郷
2月27日(木)	大戸・馬渡・近藤・常井
2月28日(金)	町内全域
3月1日(日)	上野合・沼前・石崎地区全域(平日に来られない方)
3月2日(月)	秋葉・南島田・神谷・生井沢・下雨ヶ谷・上雨ヶ谷・下座
3月3日(火)	鳥羽田・小幡
3月4日(水)	小堤・駒場・神宿・海老沢・城之内
3月5日(木)	宮ヶ崎・網掛
3月6日(金)	上石崎
3月9日(月)	中石崎・若宮
3月10日(火)	下石崎
3月11日(水)・3月12日(木) 3月13日(金)・3月16日(月)	町内全域 (毎年、たいへん混雑します!)

所得税の納期限は3月16日(月)、口座振替日は4月21日(火)です。
 安全で確実な口座振替をおすすめします。

- 待ち時間の短縮のためにも、事前に書類の整理・計算をしてください。
- 扶養控除については、**世帯内で扶養の重複がないよう、事前確認をお願いします。**

Q 申告とは何ですか？ 私は申告が必要ですか？

A 申告とは、前年の1月から12月までの所得と控除（親族の扶養の有無、医療費控除等）を自治体や税務署に書類として提出することです。
 申告は全員が必要とは限りません。所得、控除、世帯の状況等により、必要な申告が異なります。

Q&A



町内の各小・中学校では、地域の農家の方の指導のもと、農作物を育て収穫する農業体験を行っています。貴重な体験をした児童や生徒たちの感想をご紹介します。

【問合せ先】 学校教育課 ☎029-240-7121 (直通)

私たちの米作り体験

葵小学校 五年一組
 中居 和香菜



私たちは五年生になってお米を育ててきました。田植えでは、苗を五本一緒に植えて、丈夫に育つ工夫をしました。水を張った田んぼの中は歩きにくく、腰をかがめて苗を植えました。つかれましたが、上手に植えられました。秋は実を付け、五十センチメートルくらいの高さまで育ちました。稲かりは、かまを使い、全て手作業で行いました。力が必要な作業なので体力が必要でした。昔の人が手作業で行っていた米作りの大変さを実感しました。ブライトリダーの奥合さんや先生方に米作りのことをたくさん教えていただいて、良い体験になりました。

農業体験を終えて

明光中学校 一年二組
 石堀 紘大



十月七日に農業体験を行いました。今回の体験では、白菜やブロッコリー、レタスの苗を植えました。苗を見たのは初めてだったので、いつも食べている野菜の形をしていないことに驚きました。上手に植えられるか心配でしたが、小沼さんが優しく教えてくださったので、楽しく活動できました。早く食べたいなと思いながら作業をしていました。最初は広いと思っていましたが、みんなやるとあっという間に植え終わりました。畑を見ると、日に日に成長していくのが分かって嬉しい気持ちになりました。収穫するのは十二月頃とのことなので、これからがとても楽しみです。この経験を生かし、大人になってからも野菜を自分で作ってみたいと思います。

農業体験を振り返って

青葉中学校 一年二組
 郡司 あおい



四月から農業について色々教えてくださった方々から、いもの苗をいただきました。大切に育ててきたので、いもを収穫するとき、農家さんたちのありがたみを感じました。そして、みんな楽しそうに周りの人たちと協力していもをほっていたので、何だかうれしくなりました。みんながほつたいものは、ほとんどが大きく立派に育っていたので、一人ひとりが気持ちを込めて大切に育ててきたんだなと感じました。来年も農家さんたちからいただくいもの苗を大切に育て、食べ物のおかげがたまにみんなが感じられたらいいなと思います。